

学年 中学校2年生
 テーマ 職業
 主な学習形態 グループ（事業所）

単元名 自分の好きなこと・得意なことを生かした仕事で事業所・利用者の人に笑顔になってもらおう

本質的な問い 自分の力をどう生かせば社会に貢献できるのか？

単元で解決を目指す生活・社会の問題 各事業所の職員さん・利用者さんの困りごと

社会参画：PBL
 探究的な学びを通して得られた知見を生かして事業所の困りごとの解決に取り組む。

＜課題の設定＞
 事業所の方からの意見を踏まえて企画と計画を再検討する。

職場体験

＜まとめ・表現＞①・③・⑩
 企画を再度提案し、企画を実行する。（職場体験）これまでの学習を振り返る。
 手立て：まとめスライドの作成の視点の提示
 自分らしく社会貢献できたかどうか、単元前後での自分らしく働く姿のイメージの変容、評価規準③⑩を振り返りの視点として示す。

＜情報の収集＞⑧-2
 企画をより良いものにするために、専門家に相談する。

手立て：これまでお世話になった専門家の共有改善点を解決するために、協力していただけそうな方を生徒とともにリストアップし、各自で相談するかどうか決める。

＜課題の設定＞④
 自分らしく事業所の困りごとを解決するための計画を立てる。
 運用：グループ単位での計画の立案
 1年時の探究の過程を振り返り、事業所ごとに、計画を立案する。

企画書作成

＜まとめ・表現＞⑦
 企画書を作成し、事業所の方に提案するが、うまく企画が通らない。
 手立て：改善点の指摘
 教員の事前連携で、生徒が提示する企画を概ね受け入れていただきながら改善点を指摘していただくように、依頼しておく。

＜情報の収集＞⑤
 実地調査等で情報を収集する。

＜整理・分析＞
 収集した情報と自分らしさを掛け合わせて企画を考える。

困りごとで事業所を選択する。

自己課題：困りごとで事業所を選択
 教員の事前連携で、各事業所の困りごとをいただいておき、自分の好きなこと・得意なことを生かして解決できそうな困りごと（事業所）を選ぶ。

＜課題の設定＞
 働いている姿をシミュレーションするが、想像ができない。

マインドセット

＜情報の収集＞
 働くことについて職業人にインタビューする。
 手立て：職業インタビュー（美容師、公務員、保育士、社会福祉士）
 教員の事前連携で、インタビューのねらいを共有しておく。仕事の中で自分らしさ（好きなこと・得意なこと）が生かされていることを話していただくように依頼する。

単元を貫く問いの設定
 「自分たちは、何を目的に、どう働きたいのか？」

＜まとめ・表現＞⑧-1
 職場体験で自分の好きなこと・得意なことを生かして、自分らしく働いている姿を具体的に表現する。

＜整理・分析＞⑥
 複数の職業人の働くことの共通点の中に、自分らしさ（好きなこと・得意なこと）を生かしていることを見つける。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【①知識】 仕事には、たくさんの業務があり、その中に自分の好きなこと・得意なことを生かせる業務があることを理解している。</p> <p>【②技能】 自分の好きなこと・得意なことを生かして、事業所や利用者の目的に応じた成果物を製作している。</p> <p>【③探究的な学習のよさの理解】 自身の成長や働くことに対する認識の高まりは、探究的に職場体験学習に取り組んできたことの結果であることに気付いている。</p>	<p>【④課題の設定】 事業所の困りごとを解決するための成果物について、何をどのように調べ、解決するか見通しをもって計画を立てている。</p> <p>【⑤情報の収集】 事業所の困りごとを解決する企画書を作成するために必要な情報を効率的に収集する手段を選択している。</p> <p>【⑥整理・分析】 職業インタビューでの複数の職業の方の話を比較して、共通点や差異点を見付けている。</p> <p>【⑦まとめ・表現】 事業所の方との合意形成を目的に、企画案を効果的に伝えている。</p>	<p>【⑧-1自己理解】 これまでの自分の生活を見直し、自分の好きなこと・得意なことを理解しようとしている。</p> <p>【⑧-2他者理解】 解決方法について異なる意見や他者の考えを聞き入れようとしている。</p> <p>【⑨主体性・協働性】 自分の意思で事業所の困りごとの解決に向けて、取り組もうとし、自分もしくは他者の良さを生かしながら、協力して成果物の製作に取り組もうとしている。</p> <p>【⑩将来展望・社会参画】 職業との関わりの中で自己の生き方を考え、生活や社会の中から、自分の好きなこと・得意なことを生かして、自分で解決できることを見つけようとしている。</p>